

第5回 西都地区新設小学校(仮称) 開校準備委員会

日時:令和4年2月7日(月)14:00~
会場:西都公民館

— 次 第 —

1. 議事

(1) 校歌・校章について

資料1

(2) 通学路・学校教育目標について

資料2

2. 連絡事項

○次回開催日程

議事(1) 校歌・校章について

(1)校歌について

■作成依頼者

MOCA 氏（音楽グループ BERRY GOODMAN メンバー）

【略歴】

1988 年 4 月 24 日生

18 歳から音楽活動を始め、25 歳の時にソロアルバム「原始人の歌」をリリース。

その年にベリーグッドマンを結成し現在も活動中。

語りかけるような歌と熱いパフォーマンスが特徴。

教員免許（高校）の資格を取得している。

■作成の時期

令和 4 年 7 月まで

(2)校章について

■作成依頼者

源田 悦夫氏（九州大学名誉教授）

【略歴】

武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業、東京芸術大学大学院修了。

デジタルコンテンツデザイン教育の第一人者。

平成 29 年 福岡市西都小学校 校章制作。

令和元年度 福岡市民文化活動功労賞受賞。

■作成の時期

令和 4 年 7 月まで

(3)校歌・校章のアンケート結果について

【アンケート対象者】

西都小学校に通う全児童と保護者

西都小学校区内の全世帯

元岡小学校に通う石崎隣組に居住する児童と保護者

元岡小学校区石崎隣組の全世帯

【対象者数】

アンケート配布枚数	西都校区	6,320
	西都小	2,380 (1,190×2)
	石崎隣組	100
	元岡小	16 (8×2)
	合計	8,816 枚

アンケート回収数 92 枚 (回収率 1.04%)

【実施方法】

児童、保護者には学校から、地域住民には町内会から配付していただき、西都公民館、元岡公民館、西都小学校、元岡小学校にて回収。

教育委員会ホームページにアンケートを掲載し、通学区域課宛のメールにて回収。

【調査期間】

令和3年12月22日から令和4年1月24日まで

【回答者の属性】

	回収数
西都小学校児童	61
西都校区	23
元岡小学校児童	0
元岡校区	2
不明	6

【アンケート内容】

- 1 「校歌」を作詞するにあたり、歌詞に入れたい字句などがあればお書きください。
- 2 「校章」に表したいイメージを言葉でお書きください。
- 3 その他、校歌や校章について、ご自由にお書きください。(地域・保護者)
新しい小学校について「こんな学校になったらいいな」と思うことなどを自由に書いてください。(児童)

【回答の集約】

- 1 校歌に入れたい字句
(児童)

・笑顔 ・友達 ・未来 ・仲間 ・希望 ・協力 ・平和 ・夢
・輝く、きらめく ・仲良し ・優しい、優しさ ・町

(地域・保護者)

・自然(山、川、海、里、野、緑、風) ・未来 ・夢 ・希望 ・誇り
・活力、元気、気力 ・日本

- 2 校章に表したいイメージ
(児童)

・自然(海、山、川)、植物、虫、緑、風、花 ・笑顔 ・助ける、協力 ・友情
・明るい、輝く ・楽しい ・友達、仲間 ・未来

(地域・保護者)

・海、山、緑 ・心 ・太陽 ・花、緑
・アルファベットは使わない ・西都小の校章をアレンジ

3 自由意見

(児童：こんな学校になったらいいな)

- ・楽しい学校 ・協力し合う、助け合う学校 ・いじめのない仲良しな学校
- ・色々頑張る学校 ・笑顔の学校 ・最後まであきらめない学校

(地域・保護者：校歌・校章に関する自由意見)

- ・地域の文化と歴史を理解したうえでの作成を要望
- ・永く地域に愛される校歌、校章 ・50年100年先を考えて作る
- ・大人になっても記憶に残るような歌
- ・短い校歌、シンプルな校章 ・シンプルでわかりやすく覚えやすいもの
- ・新しい小学校なのでオリジナリティを出してもいいのでは ・踊れそうな曲
- ・個性を認め合い助け合うことのできる学校 ・多様性を認め合う学校
- ・教員の質のいい学校

(4)第4回委員会での意見

(校歌)

- ・子どもの未来や夢、そういった思いを込めた歌
- ・西都小の校歌とは全く別のイメージの歌
- ・地域の意見を入れて作る
- ・将来思い出せるような校歌

(校章)

- ・西都小との繋がりを残した校章
- ・西都小の校章をベースに新しさをプラスアルファする

議事(2) 通学路・学校教育目標について

通学路の設定

○通学路を設定する上での基本的な考え方(安全・安心課)

- ①できるだけ歩車道の区別のある道路を通学路に設定し、区別がない場合は、交通量が少なく、児童生徒の安全な歩行を確保できる幅員の道路を通学路に設定する。
- ②遮断機のない無人踏切や見通しの悪い箇所など危険箇所を避ける。
- ③横断歩道や信号機が設置されているか、警察官等の誘導が行われているかなど、安全に道路を横断できるように通学路を設定する。



○通学路ワーキンググループの考え

新設校の通学区域内においては、西都1丁目、北原1丁目方面の児童が登下校に利用するための、上記考え方に基づく適切な道路がないため、通学区域外の西都1丁目交差点を北上するBコースを通学路としたい。

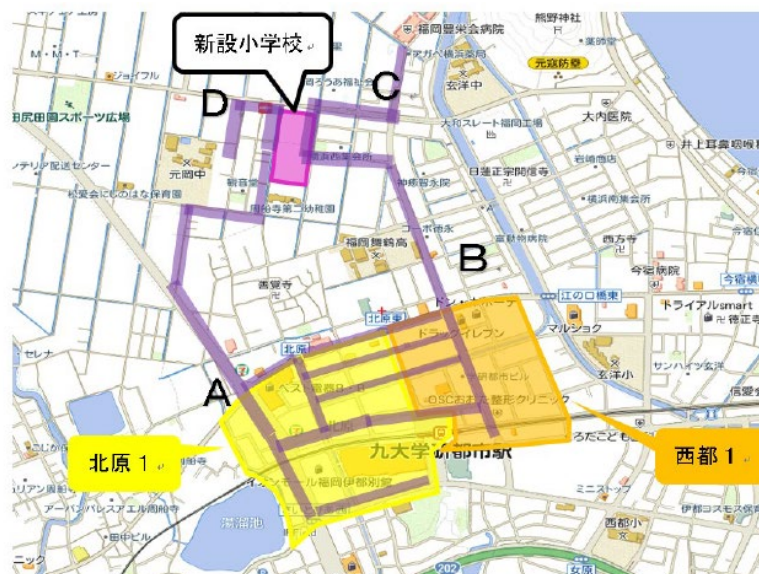
○昭和病院横の道路も検討したが、西都1丁目を北上するコースが適切であると判断した。

(理由)

- ・歩車道の区別がなく、車両の離合がやっとの幅員のため、児童生徒の安全な歩行を確保できない。
- ・横断歩道や信号機が設置されておらず、安全に道路を横断できない。また、県警に要請しても設置対象となるか分からない。

※徳永町内会委員から、「昭和病院横の道路は、運送会社のトラックの往来が多く危険な状況である」との意見あり。

○通学路候補図



西都地区新設小学校教育目標

1 学校教育目標

新しい時代をたくましく生き抜く力を身につけ、多様性を尊重しながら、
絆と未来を創り出す子どもを育成する。

2 めざす学校像

☆みんなで創る学校

（西都北小に関わる人みんなで学校の文化や伝統を創る）

○自慢できる学校

（子ども主体、特色ある教育活動）

○信頼できる学校

（情報発信、協働）

○安心できる学校

（人権尊重、危機管理）

3 めざす児童像

さいごまでがんばる子 （集中力、やり抜く力）

いろいろな人を大切にする子 （自他尊重、多様性理解）

ともに学び高め合う子 （考える力、伝え合う力）

きょう力する子 （協調性、人間関係力）

たくましい子 （チャレンジ精神、問題解決能力）

4 めざす教師像

○愛情・情熱をもって懸命に教育活動に取り組む教師

○子どもの命と人権を守り、一人一人を大切にする教師

○同僚や保護者、地域等と連携し、協働する教師

○教育者としての誇りと使命感をもち、学び続ける教師